

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	建築一般構造 2
科目基礎情報					
開設学科	建築設計科	コース名		開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	初めての建築一般構造 改訂版 学芸出版社				
担当教員情報					
担当教員	遠藤隆洋		実務経験の有無・職種	有・構造設計	
学習目的					
建築一般構造 2 では、鉄筋コンクリート構造が鉄筋とコンクリートが互いの弱点を補いあった構造形式であり、材料の特性からラーメン構造の構造計画まで幅広く解説をする。鉄骨構造では特徴と構造形式、接合方法、耐火被覆まで解説する。鉄骨鉄筋コンクリート構造では、その特徴や構造形式を解説する。これらを理解し修得することを学習目的とする。					
到達目標					
建築一般構造 2 では、次の3点を到達目標とする（期末試験90点以上）。 ①鉄筋コンクリート構造の構造原理と特徴を理解する。 ②鉄骨構造の特徴と構造形式を理解する。 ③鉄骨鉄筋コンクリートの特徴と構造形式を理解する。					
教育方法等					
授業概要	講義を中心に授業を進め、理解度を深める。講義では、各部材が建築物の中でどこに使われていて、どのような役割があり、そのために、どのような工夫がされているのかを意識しながら聞いてほしい。また、テストは、建築士試験の過去問題をもとに作成している。				
注意点	授業には受身ではなく、主体的に取り組むこと。ノートはていねいに書く必要はなくメモで構わない。予習・復習を怠らないこと。出席は自己管理して出席不足にならないようにすること。授業時間数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。日本工学院授業心得（学生用）を守ること。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	80%	試験を総合的に評価する。		
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために適宜実施する。		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	RC造 特徴・構造形式		鉄筋コンクリート構造の原理と特徴について理解する。		
2回	RC造 材料・配筋の基本		鉄筋とコンクリートの性質を理解する。		
3回	RC造 地盤・基礎の形式		基礎地盤と基礎の形式を理解する。		
4回	RC造 柱(断面形・配筋基準)		ラーメン構造の構造計画のなかで、柱の配置と配筋について理解する。		
5回	RC造 梁(断面形・配筋基準)		ラーメン構造の構造計画のなかで、梁の断面形と配筋について理解する。		
6回	RC造 床・耐震壁・階段		床スラブと耐震壁の配筋について理解する。		
7回	RC造 防水・仕上げ		屋根や地下室の防水を理解する。		
8回	S造 特徴・構造形式・鋼材		鉄骨構造の特徴と構造形式について理解する。		
9回	S造 接合(高力ボルト・溶接)		鋼材の接合方法を理解する。		
10回	S造 梁(種類・継手)		梁に作用する応力と梁の断面形状について理解する。		
11回	S造 柱(種類・仕口)		柱の種類と梁との仕口について理解する。		
12回	S造 柱脚の形式・基礎		柱脚と基礎の構造について理解する。		
13回	S造 耐火被覆・仕上げ		鉄骨造の耐火被覆を理解する。		
14回	SRC造 特徴・構造形式		鉄骨鉄筋コンクリート構造の特徴と構造形式について理解する。		
15回	CB造・PC造		補強コンクリートブロック造とプレストレストコンクリート造の概要を理解する。		